

ARCHIV
FÜR
JAPANISCHE CHIRURGIE

VII BAND 1930

日本外科寶函

第七卷

昭和五年

日本外科實函第七卷

原 著 總 目 次

- 兩側開胸術 = 應用セラルベキ補助呼吸裝置 = 關スル實驗的研究—胸腔外科 = 於ケル新呼吸裝置ノ提出 由 茅 二 五 四 (1)
- 臍縫合並 = 移植ノ手術成績ガ該臍附屬筋 = 及ボス影響 = 關スル實驗的研究 中 野 岩 吉 (27)
- 試験管内特殊喰菌現象 = 對スル肉腫ノ「イムペヂン」作用 青 柳 安 誠 (45)
- ウエスターグレン氏法 = 依ル本邦健康人赤血球沈降速度ノ基準。特 = 血液型トノ關係 = 就イテ 寺 本 太 郎 市 (149)
- 普通加熱「ワクチン」ハ免疫阻止物質ヲ含有スルヤ傳研製「コレラワクチン」ノ含有スル「イムペヂン」ノ立證 吉 富 又 平 (106)
- 最大喰菌作用催進 = 必要ナル家鷄粘液肉腫液煮沸時間 青 柳 安 誠 (175)
- 最大喰菌作用催進 = 必要ナル紡錘形細胞人肉腫組織煮沸時間 青 柳 安 誠 (184)
- 兩側開胸術 = 應用セラルベキ補助呼吸裝置 = 關スル實驗的研究、胸腔外科 = 於ケル新呼吸裝置ノ提出 由 茅 二 五 四 (193)
- 慢性綠膿桿菌性大腸炎 = 於ケル經口免疫 附録膿桿菌自家「コクチゲン」内服治驗成績 中 川 三 郎 (219)
- 榮養ノ骨折治癒 = 及ボス影響ノ實驗的研究
第一報 「ビタミン」C 比較的缺乏飼料ヲ以テ飼養シタル海猿ノ骨折治癒 = 就テ 岡 部 健 三 郎 (226)
- 榮養ノ骨折治癒 = 及ボス影響ノ實驗的研究
第二報 異レル飼料ヲ以テ短期間飼養シタル幼若「ラツテ」ノ骨折治癒 = 就テ
- 第三報 異レル飼料ヲ以テ長期間飼養シタル成熟「ラツテ」ノ骨折治癒 = 就テ 岡 部 健 三 郎 (237)
- 骨折治癒時 = 於ケル生化學的研究 (第 3 回報告) 大 野 一 信 (329)
- 固定繃帶 = 因ル四肢筋攣縮 = 關スル實驗的研究 (第 4 回報告) 濱 良 三 (369)

固定繃帶 = 因ル四肢筋攣縮 = 關スル實驗的研究 (第 5 回報告)	濱	良	三 (405)
脾臟剔出動物ノ骨折治癒現象 = 就キテ (第 1 回報告)	中	野	岩 吉 (420)
術後空腸潰瘍ノ成因 = 關スル實驗的研究 (第 1 回報告)	舟	山	鐵 雄 (433)
術後空腸潰瘍ノ成因 = 關スル實驗的研究 (第 2 回報告)	舟	山	鐵 雄 (439)
術後空腸潰瘍ノ成因 = 關スル實驗的研究 (第 3 回報告)	舟	山	鐵 雄 (451)
畸形性關節炎 = 關スル實驗的研究 (第 1 回報告)	舟	山	鐵 雄 (479)
畸形性關節炎 = 關スル實驗的研究 (第 2 回報告)	舟	山	鐵 雄 (489)
脾剔出動物 = 於ケル血清内「カルシウム」含有量ノ消長 = 就イテ (第 2 報)	中	野	岩 吉 (523)
實驗的海猿結核 = 及ボス (日光光線、紫外線及ビ熱線)ノ影響 = 就イテ			
(第 1 編) 日光浴ノ影響 = 就イテ	中	野	岩 吉 (540)
日本人輸尿管ノ局所解剖學的研究 = 就イテ	喜	多	豪 (558)
大「ザフエーナ」靜脈歸流部ノ稀有ナル異常 = 就イテ	喜	多	豪 (568)
實驗的海猿結核 = 及ボス日光光線、紫外線及ビ熱線ノ影響 = 就テ			
(第 2 編) 人工太陽燈光線ノ影響 = 就テ	中	野	岩 吉 (621)
實驗的海猿結核 = 及ボス日光光線、紫外線及ビ熱線ノ影響 = 就テ			
(第 3 編) 電熱反射器光線ノ影響 = 就テ	中	野	岩 吉 (639)
固定繃帶 = 因スル四肢筋攣縮 = 對スル「アドレナリン」、「アトロピン」、 「スコボラミン」、「ダツラ」並 = 「クラール」ノ影響 = 就イテ	濱	良	三 (651)
固定繃帶 = 因スル筋攣縮 = 對スル頸部交感神經ノ影響 = 就イテ	濱	良	三 (663)

臨 床 總 目 次

膽道外科 = 於ケル術式的大網膜造壁術 = 就テ	荒	木	千 里 (67)
放線狀菌病ノ「レントゲン」線放射療法	久	田	賢 次 (101)
膽道外科 = 於ケル術式の大網膜造壁術 = 就テ	荒	木	千 里 (271)
迴盲部曠置術 = 後發セル「イレウス」例附吻合術式ノ改良 = 就テ	{	藤	田 登 (298)
		大	野 良 藏

腎結石 (臨床講義)	{ 磯部喜右衛門 山根 齊	(303)
癲癇患者ノ血液水素「イオン」濃度及ビ其ノ酸中和能 = 就テ	舟山鐵雄	(571)
外科的疾患並ニ其ノ手術ニ於ケル血液水素「イオン」濃度及ビ其ノ酸中和能 = 就テ	舟山鐵雄	(575)
腰薦交感神經節切除術ノ侵入經路 = 就テ余等ノ後腹膜の腰薦交感神經節切除術	{ 大澤 達 青柳 安誠	(672)
左右不同脈 = 及ボス外科的治療ノ影響 = 就テ	{ 織田 正徳 神部 信雄	(682)
脛骨ノ囊腫カ肉腫カ (臨床講義)	磯部喜右衛門	(702)

雜 錄 總 目 次

10月抄讀會演題	(147)
11月抄讀會演題	(147)
伊藤先生ノ思ヒ出 (森武美)	(323)
故伊藤隼三先生ノ追懷 (革島彦一)	(323)
1月抄讀會演題	(323)
第31回日本外科學會漫評其他	(505)
一ツノ論文ヲ書キ上ゲルマデ (村上徳治)	(609)
獨逸國內外科學會	(609)
鳥瀉教授通信	(735)
第30回日本外科學會	825.6.8 南條 (588)

附 錄 原 著 總 目 次

下腿潰瘍ノ治癒經過及ビ治癒機轉

附、感染創ノ一新療方針

藤 浪 修 一 (1)

平壓開胸術、平壓開胸洞横隔膜開腹術、平壓開胸開腹術又ハ平壓開腹開

胸術 = ヨル横隔膜、縦隔竇、食道、噴門部等ノ手術 = 就テ 大 澤 達 (9)

黄色葡萄球菌ノ胸腔内感染 = 對スル同名菌生、煮兩免疫元ノ局所治療

的乃至豫防的の差別 = 就テ

富 田 正 來 (44)

- 直腸脱ノ手術的療法 = 就テ 荒 木 千 里 (66)
- 特發性總輸膽管囊腫 = 就テ 神 部 信 雄 (74)
- 血漿中「フィブリノーゲン」量ト赤血球沈降速度トノ關係
 竝ニ結核患者ニ於ケル診斷上ノ價值 前 田 和 三 郎 (84)
 百 溪 定 七
- 神經終末ノ形態學的研究
 (第二報告) 神經毒ニヨル變化 橋 本 松 之 助 (95)
- 中國人ノ骨及關節結核ノ統計的觀察 橋 本 松 之 助 (107)
- 骨折治癒時ニ於ケル生化學的研究 (第三回報告)
 鹽化「カルシウム」溶液靜脈内注射ノ骨折治癒現象ニ及ボス影響(其ノ二)
 家兎體重毎珪1.0%鹽化「カルシウム」溶液0.3珪隔日反覆注射實驗
 大 野 一 信 (115)
- 骨折治癒時ニ於ケル生化學的研究 (第四回報告)
 黃燐「オレーフ」油溶液非經口の投與ノ骨折治癒現象ニ
 及ボス影響 大 野 一 信 (147)
- 本邦人手腕關節「レントゲン」解剖學ト其ノ臨床的意義 西 郷 一 惠 (181)
- 腰髓麻醉ノ腸管運動ニ及ボス影響 = 就テノ實驗的研究
 附、腸管麻痺時ニ於ケル腰髓麻醉ノ治療的價值 岩 島 武 次 (223)
- 諸種灌腸及ピル門刺戟ノ小腸運動ニ及ボス影響 = 關スル
 實驗的研究 山 本 明 治 (278)
- 臨床的見地ニ於ケル胃壁動脈管ノ分布 = 就テ
 (第二報) 家兎ノ胃粘膜ノ血管系統 = 就テ 多 米 時 彦 (306)
- 臨床的見地ニ於ケル胃壁動脈管ノ分布 = 就テ
 (第三報) 犬ニ就テノ研究 多 米 時 彦 (314)
- 連鎖狀球菌葡萄狀球菌混合「コクチゲン」軟膏塗擦ニヨル
 皮下組織ノ局所性自働免疫 盛 大 彌 壽 男 朗 (330)
 隈 義 素
- 側迷入甲狀腺癌ノ一例 田 口 正 素 (351)
- 慢性纖維性包裡性腹膜炎(糖皮腸) = 就テ 藤 中 田 野 登 武 (363)
- 陳舊「アメーバ」赤痢後ニ發セル腸壁肥厚、收縮並ニ
 狹窄 = 就テ 櫻 井 雅 四 郎 (375)
- 外傷後ニ於ケル腦壓亢進ノ療法 上 長 田 井 寬 貞 一 治 (381)

腸管運動検査法就中固定硝子管挿入法 = 就テ	矢 田 貝 薫 (389)
所謂瓦斯腹膜炎 = 就テ	熊 野 政 明 (401)
十二指腸移動症 = 就テ	福 里 信 藏 (415)
胸骨化骨ノ「レントゲン」學的研究	宮 崎 松 記 (435)
牛血漿塞子ヲ以テスル止血困難ナル創ノ止血	盛 彌 壽 男 (443)
平壓開胸術ノモトニ手術ヲ行ハレタル外傷性横隔膜	
「ヘルニア」ノ臨床例	辻 村 秀 夫 (456)
潛侵熱 = 就テ	荒 木 千 里 (469)
「スピロヘータ・パルリダ」= 感染セル家兎睪丸 =	
含有セラレタル「イムペヂン」ノ立證	巽 馨 (534)
「イムペヂン」ヲ産出スル生物ノ限界 = 就テ	青 柳 安 誠 (564)
腎血管ノ短時間結紮ガ腎臟ニ及ボス影響 = 就テノ實驗的研究	
(第一回報告 腎靜脈ヲ結紮シタル場合)	鈴 江 瑞 穂 (581)
生體ニ於ケル淋尿管ノ注入法ト其ノ外科的應用	原 守 藏 (617)
甲状腺化骨性纖維腫ノ一例	高 木 四 郎 (621)
蟲様垂ノ穿孔 = 因スル急性廣汎性	
腹膜炎 = 對スル手術 = 就テ	堀 内 千 仞 (624)
急性腹膜炎療法ノ批判	吉 益 雄 太 郎 (632)
急性蟲様垂炎 = 對スル所謂早期手術ノ意義	副 島 豫 四 郎 (662)
腹部聽診 = 就テ	副 島 豫 四 郎 (665)
「アルコール」ノ消毒力並ニ其滅菌法	宇 山 俊 三 (669)
植物性神經系統外科ノ過去ト將來	伊 藤 弘 (675)
「イムペヂン」現象及ビ煮沸免疫元ノ研究	鳥 潟 隆 三 (688)
外科學教室ノ行歩 = 就テ	鳥 潟 隆 三 (694)

物名索引 (第七卷 昭和五年)

(*原著 °臨床 附・附録)

A

- アドレナリン, 固定筋攣縮ニ對スル影響.....651
 *アルコール, 消毒..... 附669
 アヴェルチン麻酔, チロキシソ調節..... 497

B

- バリント氏現象, 潰瘍疾患.....136
 バセドウ氏病, 照對療法.....137
 バーロー氏病, 運動ノ影響.....592
 膀胱,
 —— 内括約筋強直..... 319
 —— 前部及ビ周圍ノ化膿.....320
 —— 切開, 經腹膜の.....727

C

- 「チステルナ、マグナ」穿刺.....315
 腸,
 *—— 壁肥厚, 陳舊「ア・メーバー」赤痢後.....附375
 —— 管運動,
 *—— 灌腸劑.....附278
 *—— 新描寫法.....附389
 *—— 腰髓麻酔.....附223
 —— 壘積症,
 —— 疝瘻ヘノ.....711
 —— 統計の觀察.....710
 —— 脂肪腫.....312
 *直腸脱, 療法.....附 66
 *聴診, 腹部.....附665

D

- °大網膜造壁術, 膽道外科..... 67, 271
 *大「ザフエーナ」靜脈異常.....567
 動脈像, 脱疽ノ.....725
 デュプイトラン氏攣縮.....588, 604

E

- エフェドリン, 術後虚脱.....497
 炎衝性膽石.....720

F

- °不同脈, 各種外科の治療..... 672
 副睪丸結核.....131

- 副甲状腺移植.....316
 腹膜炎,
 *—— 瓦斯.....712, 附401
 —— 結核性, 日光療法.....504
 *—— 急性, 治療法.....附624, 附632, 附662
 *—— 慢性纖維性包裡性.....附363
 副脊柱麻酔..... 315

G

- °瓦斯腹膜炎.....712, 附401
 *外科の結核, フィブリノゲン量, 赤血球沈
 降速度.....附 74
 外科の侵襲, 生物學的根據.....499
 外科の疾患並ニソノ手術後ニ於ケルPH.酸
 中和能.....575

H

- 白血球像, 運動後.....317
 *平壓開腹開胸術.....附 9
 ヘルニア,
 —— 喇叭管, 卵巣ヲ内容トスル.....130
 —— 子宮及ビ輸卵管ヲ内容トスル.....727
 —— 鼠蹊, 新手術法.....498
 脾臓食, 化膿性骨疾患ニ於ル.....598
 ヒドロケーレ・ムリブリス.....172
 放線狀菌病, 「レ」線療法.....101

I

- 胃,
 *—— 壁血管分布..... 附306, 附314
 —— 腸吻合術式.....709
 —— 潰瘍, 外科の療法.....729
 —— 粘膜, X線寫眞..... 124
 —— 切除術, ハーベラー氏.....603
 イレウス,
 °—— 廻盲部噴置術後.....297
 —— 胎生時腹膜炎ニ依ル.....125
 イムベデン,
 *—— 肉腫..... 45, 175, 184
 *—— 「コレラワクチン」.....160

- * _____ 産出生物ノ限界……………附564
 * _____ スピロヘータ、バルリダ……………附534
 インシュリン、創傷療法……………732

J

- 耳下腺炎、術後、傳染經路……………604
 痔核、手術新法……………730
 腎盂照射媒質……………140
 腎臓、
 — 癌……………126
 * — 血管一時的結紮……………附581
 ○ — 結石……………203
 — 莖膜神經……………602
 — 周圍膿瘍、腎盂穿孔ニヨル……………593
 — 水腫……………125
 — 摘出、被膜内……………127
 十二指腸潰瘍、
 — 火傷ニヨル……………502
 — 多發性、療法……………145
 十二指腸「ゾンデ」療法……………311

K

- 潰瘍、バリント氏現象……………130
 開胸術、平壓、
 — 肺結核ノ療法……………119, 121
 — 結核性肋膜炎……………708
 — 氣管枝内異物……………117
 — 胸壁切除筋膜ノ移植……………709
 * — 兩側……………1, 193
 — 心臟壁ヘノ異物……………117
 浣腸劑、
 * — 腸運動……………720, 附223
 間歇性跛行症、筋肉浸出液療法……………731
 カンピオドール……………140
 加温、X線乾板感光度……………593
 * 下腿潰瘍、交感神經手術……………附 1
 血管、
 * — 分布、胃壁……………附314, 附306
 — 容量測定法、交感神經手術……………595
 * 結核、骨關節(支那人)……………附107
 * 血球(赤)沈降速度ト血液型……………149
 結腸癭、正中……………729
 臍、

- 縫合及ビ移植……………27
 — 成形手術、統計……………143
 臍形、
 * — 性關節炎……………479, 489
 — 下腿麻痺、整復……………321
 — 臍、腸管ヲ有スル……………725
 筋攣縮、
 * — 小腸破壊……………369
 * — 前庭迷路破壊……………405
 骨、
 — 萎縮、急性外傷性……………603
 ○ — 囊腫(脛骨)……………702
 骨折、
 * — 治癒、生化學的研究……………329, 附115
 * — 脾摘出……………420, 523
 — 栄養……………226, 237, 254
 骨髓炎、
 — 遺殘死腔、新充填法……………589
 — 慢性、療法……………135
 — 脊椎及薦骨……………135
 交感神經、
 — 四肢、遮斷法……………60
 — 腰部、X線深部照射……………594
 * — 手術、過去ト將來……………附675
 — 切除術
 — 後腹膜的……………496, 672
 — 固定筋攣縮ニ及ボス影響……………663
 コクチゲン、
 — 大腸菌、腸管免疫……………718
 — 腹腔局所免疫……………717
 * — 軟膏……………附330
 — 軟性下疳菌……………722
 * — 総膿桿菌……………225
 * コレラワクチン、イムベジン……………160
 * 空腸潰瘍、術後……………433, 439, 451
 股關節、
 — 炎、乳兒急性膿毒性……………732
 — 骨軟骨炎、幼年性畸形性……………114
 * 胸骨化骨ノ「レントゲン」像……………附435
 * 局所免疫、コクチゲン軟膏……………附330
 * 胸腔免疫、コクチゲン……………附 44

L	
リングラ, マンソニー	592
リビオドール, 臍道X線検査	594
M	
*迷入甲狀腺瘤 側	附351
N	
軟骨, 移植ノ運命	115
*熱線, 結核ヘノ影響	639
*日光ト結核	540, 621
*肉腫, イムベヂン	45, 175, 174
膿胸, 急性,	
—— —— 保存療法	607
—— —— 治療器具	703
膈,	
*—— 壓亢進, 外傷後(療法)	附381
—— 溢血, 恢復機轉	707
—— 循環, 藥物ノ影響	596
—— 脊髄洗滌,	
—— —— 人體ニ於テ	116
—— —— ネオサルヴアルサン	115
—— —— 下垂體障害, 脊椎變化	602
尿道, 挫傷ト「レ」像	131
尿閉, 術後(療法)	503
O	
黃疸膽石症ヘノ侵襲	313
*橫隔膜「ヘルニア」平壓開胸	附456
横紋筋, 神經終末	110
P	
ペルカイン	309, 721
R	
レントゲン,	
—— —— 療法	
—— —— バセドウ氏病	133
○ —— —— 放線狀病菌	101
—— —— 丹毒	143
—— —— 像,	
—— —— —— 胃粘膜	124
—— —— —— 尿道挫傷	131
肋膜麻酔, 全, 開胸術前	502
肋軟骨ノ疾患	111
留置輸尿管「カテーテル」	605
*線腺桿菌大腸炎, 經口免疫	225
S	
*出血創, 牛血清	附443
脊柱撮影	110
脊髄空洞症, 外科的療法	606
*纖維腫, 甲狀腺化骨性	附621
薦骨部腫瘍	130
穿孔, 輸入脚盲端部	601
*潛侵熱	附469
切創性電気手術	310
脂肪,	
—— —— 刺戟療法, 外科的結核	599
—— —— 腫, 腸	312
*紫外線, 結核	621
色素性殺菌劑, 經口の應用	723
新廻轉縲帶	724
神經終末,	
* —— —— 形態學的研究	附 95
—— —— 横紋筋	110
真皮炎	132
*手關節, レントゲン像	附147
植皮術, 皮膚緊張ニヨル	724
小腸運動,	
* —— —— 描畫法	719, 附389
* —— —— 浣腸劑	720, 附279
* —— —— 腰髄麻酔	721, 附223
小腸及ピソノ腸間膜, 外科的解剖	313
小腸瘻	127
手術前免疫法	719
週期的運動, 胃手術前後	600
創傷治療, 抗張力	109
*總輸尿管囊腫, 特發性	附 74
*スピロヘータ, パルリダ, イムベヂン	附534
脾臓機能, 廣汎胃切除後	501
T	
膽石症,	
—— —— 炎衝性	720
—— —— 黃疸, 侵襲	313
°癌瘤, PH及ピ酸中和能	572
V	
ビタミンD, 骨折, 骨再生, 假骨形成	601

W

腋臭，注射療法……………110

Y

腰髄麻酔，腸管運動……………721, 附223

輸血後ノ死……………598

輸尿管，日本人，局所解剖……………558

Z

前膊骨，先天性癒着……………113

造影劑，腎盂「レ」像……………605

頭痛，腰髄麻酔後(所置)……………604

人名索引

Autorenregister

A		G	
阿部四郎	712, 713, 718	Gaisböck, F.	317
赤木信	714	Ginkovsky.	502
赤土正英	134, 717, 718	Gold, E.	732
赤土四郎藏	583	Goldstein, B. S.	320
青柳安誠 (Aoyaghi, Y.)	45, 175, 184, 672, 709, 附564	Gridnev, A.	728
荒木千里 (Araki, C.)	67, 271, 附66, 附469	Gros, O.	601
B		H	
Bengoiea, A. J.	313	Halter, G.	598
Bennett, A. E.	315	濱光治	591
Bernhard, O.	504	濱夏三 (Hama, R.)	369, 405, 597, 651, 663, 707
Burger, M.	139	濱田稻積	110, 592, 597, 708, 713
Bvrghele, T.	604	原守藏 (Hara, M.)	133, 307, 附617
C		橋本松之助 (Hashimoto, M.)	附95, 附107,
Chwalla, R.	319	Hass, T.	604
Coelazo, J. A.	601	Henderson.	321
D		Hiarowicz, H.	603
Dyroff, R.	310	樋口巖	722
E		Hirschman, L. J.	729
Einhorn, M.	311	久田賢次 (Hisada, K.)	101
Elansky, N. N.	600	堀貞雄	724
F		堀内千仞 (Horinchi, S.)	附624
Fervers, C.	315	I	
Fischer, K.	602	今西三郎	710
Flörcken.	309	今津九右衛門	110
Fried, C.	143	猪木隆三	117, 119
富士原誠一	131, 593	井上喜雄	593, 594
藤森鶴龜磨	124, 129, 720	犬塚比虎三	132
藤浪修一 (Fujinami, S.)	125, 708, 附1	石田清夫	131
藤田小五郎	112	磯部喜右衛門 (Isobe, K.)	303, 702
藤田登 (Fujita, N.)	298, 110, 附363	伊藤弘 (Ito, H.)	597, 709, 附675
福原正義	125, 724	岩島武次 (Iwashima, T.)	109, 721, 附223
福里信藏 (Fukusato, S.)	附415	J	
舟山鐵雄 (Funayama, T.)	433, 439, 479, 489, 571, 575	Jäger.	607
故倉護	591, 592, 727	Juzelevskij.	606

	K			
Kaan, O.		599	向坂 進	714
梶村 利男		130	Müller, W.	602
賀來 隆美		594, 709	村田 辰次	722
神部 信雄 (Kambe, N.)		595, 682,	N	
		721, 附74	長井 貞次 (Nagai, T.)	附381
神川 一格		597, 708, 725	中川 三郎 (Nakagawa, S.)	219, 124,
兼松 德二郎		592		133, 134, 718
加藤 喜久雄		115	中村 一郎	130, 724
勝部 育郎		723, 724	中野 岩吉 (Nakano, I.)	27, 110, 420,
河村 叶一		122		523, 540, 621, 639
河野 要		592	中野 武 (Nakano, T.)	附363
木口 直二		726	半井 厚二	712
喜多 豪 (Kita, O.)		558, 568	中島 英一郎	126
北島 好次		113	Nentadt.	143
Koehler, H.,		503	O	
近藤 銳矢		592	織田 正徳 (Oda, M.)	682
後藤 俊一		114	大橋 兵二郎	116
熊野 政明 (Kumano, M.)		130, 711,	大野 一信 (Ohno, K.)	329, 附115, 附147
		712, 附401	大野 良助 (Ohno, R.)	298
栗生 穆		121	大隈 義朗 (Ohkuma, Y.)	附330
來須 正男		126, 596	大澤 達 (Ohsawa, T.)	117, 119, 123,
				124, 594, 595, 672, 709, 附9
L			岡部 律三郎 (Okabe, K.)	226, 237
Laeffler, F.		598	岡部 精一	591
Lévai, M.		732	奥村 哲三郎	711, 720
Levin, J. J.		502	P	
M			Perpina, V. S.	496
前田 和三郎 (Maeda, W.)		附84	Pollack, H.	605
Mark, A.		140	Polya, E.	312
Martin, T.		145	Pribram, B. O.	497
町田 昌直		109, 596	Promptowa.	729
Melzner, E.		497	R	
Millich.		603	Radt, P.	135
宮崎 松記 (Miyazaki, M.)		111, 113,	Rahn, H.	138
		115, 附435	Rieder, W.	605
百溪 定七郎 (Momotani, T.)		附84	S	
Monks, G, H.		313	西郷 一惠 (Saigo, K.)	附181
盛 彌壽男 (Mori, Y.)		附330, 附443	齋藤 眞	727
森 鼻 保		125	齋藤 大雅	110, 124, 720
Moszkowicz, L.		135	櫻井 雅四郎 (Sakurai, M.)	591, 713,
Mues.		309		726, 附375

佐々木秀貫	114, 125	鳥潟隆三 (Torikata, R.)	附688, 附694
Schmieden, V.	498	辻村秀夫 (Tsujiura, H.)	附456
Schneider, E.	730	塚原仲光	124, 125, 127
Scdolle, W.	604	角田博	591
Schwarzmann, M. S.	731	U	
Schilowzew.	601	内田住夫	588
Seemen, H. V.	499	上田寛一 (Ueda, K.)	115, 附381
Seifeyt, E.	604	宇山俊三 (Uyama, S.)	133, 附669
島 薫	714	W	
清水源一郎	127, 129	渡邊一九	125, 131, 592
副島豫四郎 (Soejima, Y.)	附662, 附665	Westra, S. A.	136
相馬正保	115	Y	
Stein, G.	501	山本明治 (Yamamoto, A.)	720, 附278
勝呂學	712	山根齊	119, 307, 589
住田正雄	111, 113	山崎直治	132
鈴江瑞穂 (Suzue, M.)	附581	柳澤秀吉	725
鈴木正次	712	安井正美	129
Szarvas, F.	730	矢田貝薫 (Yatagai, K.)	124, 121, 128, 719, 附389
T		横田浩吉	119, 121, 122, 123
田口正素 (Taguchi, T.)	附351	吉益雄太郎 (Yoshimasu, Y.)	111, 132, 附632
高木四郎 (Takaghi, S.)	附621	吉岡繁雄	708
竹林弘	723	吉富又平 (Yoshitomi, M.)	160
多米時彦 (Tame, T.)	附306, 附314	由茅二五四 (Yugaya, N.)	1, 193
巽馨 (Tatsumi, K.)	附534	Z	
寺本太郎市 (Teramoto, T.)	149	Zwerg.	316
富原敏也	133		
富田正來 (Tomita, M.)	44		

Inhalt des sechsten Bandes,

(Ausgegeben 1930.)

Yugaya, N. , Experimentelle Studie über das Verfahren zur gleichzeitigen operativen Eröffnung der beiden Brusthöhlen—Einführung eines neuen Atmungsapparates in die Thoraxchirurgie.	1
Nakano, I. , An Experimental Study on Influences of Differences of Procedures of Anastomosis and Transplantation of Tendon upon the corresponding Muscle and Tendon.	27
Aoayghi, Y. , Die Impedinwirkung der Sarkome auf die spezifische Phagozytose in vitro.	45
Araki, C. , Die methodische Netzbarrikade des Operationsfeldes in der Chirurgie der Gallenwege.	67
Hisada, K. , Über die Röntgenbehandlung gegen Aktinomykose.	101
Teramoto, T. , Beiträge zur normalen Erythrozytensenkungsreaktion der Japaner nach Westergren, und über ihren Zusammenhang mit Isohämogglutination.	149
Yoshitomi, M. , Nachweis der antiimmunisatorisch wirkenden Energie in der gewöhnlichen Choleravibrionenvakzine.	160
Aoyaghi, Y. , Ueber die zum Herbeiführen grösster Phagozytose erforderliche Abkochungsdauer des Hühnermyxosarkoms.	175
Aoyaghi, Y. , Ueber die zum Herbeiführen grösster Phagozytose erforderliche Abkochungsdauer des menschlichen Spindelzellensarkoms.	184
Yugaya, N. , Experimentelle Studie über das Verfahren zur gleichzeitigen operativen Eröffnung der beiden Brusthöhlen—Einführung eines neuen Atmungsapparates in die Thoraxchirurgie. (Fortsetzung).....	193
Nakagawa, S. , La vaccination par voie buccale dans le colite pyocyanique. Resultat du traitement par le autocœtogene pyocyanique.	219
Okabe, K. , Experimental Studies of the Influence of Nutrition on the Cure of fracture. Report 1. Relationship between Vitamin C and cure of fracture.	226
Okabe, K. , Experimental studies of the influence of Nutrition on the	

Cure of fracture.

Report II. On the cure of fracture of young growing albino rats fed on various composition of diets for a short period.

Report III. On the Cure of fracture of grown albin rats fed on various composition of diets for a long period..... 237

Araki, C., Die methodische Netzbarrikade des Operations-feldes in der Chirurgie der Gallenwege.(Fortsetzung)..... 271

Ohno, K., Die biochemische Untersuchung bei der Knochenfraktur. II. Mitteilung..... 329

Hama, R., Experimental Studies on Muscular Rigidity of Extremities by Fixation with Plaster Bandage. Report IV..... 369

Hama, R., Experimental Studies on Muscular Rigidity of Extremities by Fixation with Plaster Bandage. Report V. 405

Nakano, I., On the Healing of Fracture of Bone in Splenectomized Animal. Report I. 420

Funayama, T., Experimentelle Untersuchungen über die Entstehung des postoperativen Peptischen Jejunalgeschwirs I. 433

Funayama, T., Experimentelle Untersuchungen über die Entstehung des postoperativen Peptischen Jejunalgeschwürs. II..... 439

Funayama, T., Experimentelle Untersuchungen über die Entstehung des postoperativen Peptischen Jejunalgeschwürs. III..... 451

Funayama, T., Experimentelle Studie über die Entstehung der Arthritis deformans. I..... 479

Funayama, T., Experimentell Studie über die Entstehung der Arthritis deformans. II..... 489

Nakano, I., On the Healing of Fracture of Bone in Splenectomized animal Report II. Concerning the alleged alteration in the Calcium Content of the Blood serum by Splenectomy..... 523

Nakano, I., On the Influences of the solar, Ultraviolet, and Heat Rays upon the Experimental Tuberculosis of the guineapig..... 540

Kita, O., Zur Topographie der Ureteren der Japaner..... 558

Kita, O., Eine seltene Varietät der Einmündungsstell der V. saphena magna. 568

Nakano, I. , Über den Einfluss der Sonnenultravioletten und Hitzestrahlen auf die experimentelle Meerschweinchentuberkulose. Zweites Kapitel; Über den Eienfluss der künstlichen Sonnenstrahlen. 621	
Nakano, I. , Über den Einfluss der Sonnenultravioletten und Hitzestrahlen auf die experimentelle Meerschweinchentuberkulose. Drittes Kapitel; Über den Einfluss der vom Reflektor reflektierten elektrischen Hitze..... 639	
Hama, R. , On the Influences of Adrenalin and a few other alkaloids upon the Fixation Contracture. 651	
Hama, R. , On the Influences of the Cervical and Thoracic sympathetics upon the Fixation contracture..... 663	
Ohsawa, T. , and Aoyaghi, Y. , On the Route of Approach in the Lumbo-sacral Ganglionectomy (Our Technic of Retroperitoneal Operation). ...672	
Oda, M. , and Kambe, N. , Influence of surgical Treatment of vascular Diseases upon Pulsus differens in the upper and lower Extremities.682	

Inhalt der Beiheft.

Fujinami, S. , Ueber den Verlauf der durch die lumbosacrale Ganglionektomie nach Ito-Ohsawa herbeigeführten Heilung des chronischen Unterschenkelgeschwürs. 1	
Ohsawa, T. , Ueber die unilaterale freie Thorakotomie mit oder ohne Kombination mit der transdiaphragmalen bzw. der ventro-arcodiaphragmalen Laparotomie für operative Eingriffe in der dorsalen Tiefe der unteren Apertur der Brust des Menschen. 9	
Tomita, M. , Unterschied zwischen dem Nativantigen und dem Koktoantigen in ihrer prophylaktischen bzw. therapeutischen Wirkung beim Eindringen der Mikroben in die Brusthöhle. 44	
Araki, C. , Beitrag zur operativen Behandlung von Mastdarmprolapsus. ... 66	
Kambe, N. , Ueber idiopathischen Choledochuszyste. 74	
Mayeda, W. , u. Momotani, T. , Ueber die Beziehungen zwischen dem Fibrinogengehalt im Blutplasma und der Erythrocytensenkung	

geschwindigkeit, und den Wert seiner Bestimmung für die Diagnose der chirurgischen Tuberculose.	84
Hashimoto, M. , Morphologische Forschungen über Nervenendigungen. II. Abteilung: Veränderungen der Nervenfasern und -endigungen durch Nervengifte.	95
Hashimoto, M. , Über die Knochen -u. Gelenktuberculose der Chinesen. ...	107
Ohno, K. , Die biochemische Untersuchung bei der Heilung der Knochen- fraktur. III. Mitteilung. Der Einfluss der intravenösen Injektion des Chlorcalciums auf den Heilungsvorgang der Fraktur. (2. Teil.) Die Versuche mit den einen Tag um den andern wiederholten Injektionen von 0.3 ccm der 1.0% Chlorcalciumlösung pro 1.0Kg des Körperge- wichtes des Kaninchens.	115
Ohno, K. , Die biochemische Untersuchung bei der Heilung der Knochen- fraktur. IV. Mitteilung. Der Einfluss der nicht oralen Applikation der gelben Phosphorolivenoeloesung auf den Heilungsvorgang der Fraktur.	147
Saigo, K. , Röntgenanatomie des Handgelenks der Japaner und ihre kli- nische Bedeutung.	181
Iwashima, T. , Experimentelle Studien ueber den Einfluss der Lumbalan- ästhesie auf der Darmbewegung. Anhang: Therapeutischer Wert der Anwendung der Lumbalanästhesie bei der sogenannten Darmparese. ...	223
Yamamoto, A. , Experimentelle Untersuchung über den Einflusse der Darmspülung und der Ausreizung auf die Dünndarmbewegung.	278
Tame, T. , Ueber die arterielle Versorgung der Magenwand. II. Mitteil- ung: Ueber die Blutgefässe der Magenschleimhaut bei Kaninchen. ...	306
Tame, T. , Ueber die arterielle Versorgung der Magenwand. III. Mitteil- ung: Ergebnisse der Erforschung über Hundemagen.	314
Mori, Y. , u. Ohkuma, Y. , Ueber die Gewinnung der lokalen aktiven Immunität des subkutanen Gewebes mittels der Einreibung der Stre- pto-Staphylokoktoimmunogensalbe	330
Taguchi, T. , A Case of Carcinomatous Lateral Aberrant Thyroids	350
Fujita, N. , u. Nakano, T. , Ueber die Peritonitis chronica fibrosa incapsu-	

lata (Zuckergussdarm)	363
Sakurai, M. , Ueber die Darmwandverdickung -schrumpfung und -striktur nach veralteter Amoebendysenterie	375
Uyeda, K. , u. Nagai, T. , Zur Behandlung des Hirndrucks nach Trauma.	381
Yatagai, K. , Ueber die Untersuchungsmethoden der Darmbewegung, ins- besondere eine neue graphische Registrieremethode.	389
Kumano, M. , Ueber sogenannte Gaspertonitis.	401
Fukusato, S. , Ueber Duodenum mobile,	415
Miyazaki, M. , Röntgenologische Untersuchungen über die Verknöcherung des Brustbeins.	435
Mori Y. , Über die Tamponierung mit dem gerinnungsfähigen Rinderblut- plasma bei schwer blutender Wunde.	443
Tsujimura, H. , Ueber einen mittels freier Thorakotomie operierten Fall von traumatischer Diaphragmahernie.	456
Araki, Ch. , Über das Invasionsfieber.	469
Tatsumi, K. , Das Impedin bei den mit <i>Spirochaeta pallida</i> infizierten Kaninchenhoden.	534
Aoyaghi, Y. , Was für Lebewesen produzieren Impedin?	564
Suzue, M. , Experimentelle Untersuchungen über den Einfluss tempor- ärer Gefäßstielabklemmung auf die Niere.	581
Hara, M. , Chirurgische Anwendung der Lymphgefäßinjection.	617
Takaghi, S. , Ein Fall von Fibroma ossificans der Schilddrüse.	621
Horiuchi, S. , Ueber die Operation der akuten allgemeinen durch perfora- tion des Wurmfortsatzes verursachten peritonitis.	624
Yoshimasu, Y. , Kritik der verschiedenen Behandlungsarten der akuten Peritonitis.	632
Soejima, Y. , Ueber die Sog. Frühoperation bei akuter Wurmfortsatzentzündung.	662
Soejima, Y. , Ueber die Auskultation des Abdomens.	665
Uyama, S. , Ueber die bakterizide Wirkung des Alkohols und seine Ster- ilisationsmethode.	669
Ito, H. , Vergangenheit und Zukunft der Chirurgie des vegetativen Nerve-	

nsystems.	675
Torikata. R. , Die Erforschung über das Impedin und das Koltigen.	688
Torikata. R. , Fortschritte in der Chirurgischen Universitätsklinik, Kyoto.	694

Sachregister. (Band VII, 1930)

(* 原著 ° 臨床 Bhf. 附録)

- A**
- *Adrenalin, Influence of, Upon the fixation-
contracture.....651
- °Aktinomykose, Röntgenbehandlung.....101
- *Alkohol, bakterizide Wirkung u. Sterilisa-
tion.....Bhf. 669
- *Arthritis deformans.....479, 489
- Avertinnarkose, Steuerung durch Thyroxin
.....497
- *Auskultation, d. Abdomens665
- B**
- Balint'sche Phänomen, bei Ulcusleiden.....136
- Basedow'sche Krh, Röntgenbehandlung...138
- Blasenschliessmuskel, Starre319
- *Blutende Wunde, Rinderserum.....Bhf. 443
- Bluttransfusion, Tödlicher Zwischenfall ..598
- *Bluttypus, Erythrocytensenkungsgesch-
windigkeit149
- *Brusthöhle, Immunisierung mit Koktigen
.....Bhf. 44
- C**
- Canpidol, as pyelographic Medium.....140
- *Carcinoma, laterale aberrant Thyroids....
.....Bhf. 351
- Chirurgische Eingriffe, biologische
Grundlagen.....499
- *Choledochuszyste, idiopathische.....Bhf. 74
- *Cholera-vakzine, Impedin160
- Cisternal puncture.....315
- Clandicatio intermittens, Muskelextrakt ..731
- *Colile pyocyanique chronique, autococytogene
.....219
- Colostomy, median.....729
- D**
- Darm,
* ——— bewegung, Darmspülung ..720, Bhf. 279
* ——— ——— graphische Registrierungs-
methode.....719, Bhf. 389
- * ——— ——— Lumbalanästhesie...721, Bhf. 223
—— ——— lipom.....312
- * ——— wandverdickung, nach Amoebendy-
senterie.....Bhf. 375
- Deformity of lower leg321
- *Diaphragmahernie, traumatische, Freie
thorakotomieBhf. 456
- Duodenal tube, Ileus after G.E.311
- Duodenum,
* ——— mobileBhf. 415
—— ——— ulcus, Therapie.....145
—— ——— n. Verbrennung.....502
- Dupuytren'sche Kontraktur604
- E**
- Ephedrin, Postop. Kollapszustände.....497
- Epithelkörperchentransplantation316
- Erysipelas, Röntgentherapie.....143
- *Erythrocytensenkungsgeschwindigkeit,
Bluttypus.....149
- F**
- Fettstoffreiztherapie, chirurg. Tuberculose...
.....599
- *Fibroma ossificans, Schilddrüse.....Bhf. 621
- Fracture a. Nutrition226, 237, 254
- G**
- *Gasperitonitis.....Bhf. 401
- Gallenstein mit Ikterus, Eingriff313
- H**
- Haemorrhoidalknoten, neues Verfahren ..730
- *Handgelenk, RöntgenanatomieBhf. 181
- Harnblasenschnitt, transperitoneale728
- Harnverhaltung, postop.503
- Hernie,
—— ——— Leisten, neues Verfahren498
- * ——— Diaphragma.....Bhf. 456
- *Hirndruck, n. Trauma (Therapie) ..Bhf. 381

- *Hitzestrahlen, auf exp. Meerschweinchen
T. B. Bhf. 639
*Hühnermyosarkom, Impedin 175
Hypophysenfunktion, Wirbelveränderung 602

I

- Indwelling uretercatheter 605
Insulin, Wundbehandlung 732
Impedinwirkung,
* bei Cholera vakzine 160
* Grenzgebiet Bhf. 564
* bei Sarkome 45, 174, 184
* bei Spirochaeta pallida Bhf. 534

K

- Knochen,
—— atrophie, akute traumatische 603
° cyste 702
* fraktur, biochemische Untersuchung 329, Bhf. 115
* Milzexstirpation 420, 523
Koktoimmunogen,
* Immunisierung d.
Brusthöhle Bhf. 44
* Salbe, lokale Immunität
..... Bhf. 330
Kopfschmerz, n. Rückenmarksanaesthesie
(Therapie) 604
Koxitis, akute septische, frühen Kindes-
alters 732

L

- Leucoeytenbild, n. Körperl. Arbeit 317
Lipom, Darm 312
*Lokale Immunität, Koktigensalbe Bhf. 330
*Lumbalanästhesie, Darmbewegung Bhf. 223
*Lymphgefäßinjektion, chirurg. Anwendung
..... 617

M

- Magen,
—— funktion, n. ausgedehnter Magen-
resektion 501
—— resektion n. Haberer 603
—— wand, arterielle Versorgung Bhf. 306

- Bhf. 314
Mastdarmprolapsus, Behandlung Bhf. 66
Milzerfütterung, bei eitrigen Knochen u.
Gelenkerkrankungen 598
Muskelextakt, Claudicatio intermittens 731
*Muscular Rigidity, of Extremities 369, 405

N

- *Nervenendigung Bhf. 95
Netzbarrikade, Gallenwegchirurgie 67, 271
Niere,
* gefäßstiel, temporäre Abklemmung
..... Bhf. 581
—— Kapselnerven 602
—— Stein 203

O

- Osteomyelitis, chronische, Behandlung 135
—— Wirbelsäule u. Kreuzbein 135

P

- Pancreasfunktion, n. ausgedehnter Magen-
resektion 501
Paravertebrale Anästhesie 315
Parotitis, postop, Infektionsweg 604
Periodische Fähigkeit d. Magens 600
*Peritonitis, akute, Behandlung Bhf. 624
..... Bhf. 632
Peritonitis,
* chronica fibrosa incapsulata. Bhf. 363
* Gas Bhf. 401
—— tuberculose, Sonnenlicht 504
Perkain 721
*Peptischer Jeunalgeschwür 433, 439, 451
Pleuraanaesthesie, bei Thorakotomie 502
Prevesical, Perivesical a. Periprostatic
Suppuration 320
Pyelographiemedium, Campiodol 140, 606
Pyothorax, akut, Palliative Behandlung 607

R

- Rinderserum, Blutende Wunde Bhf. 443
*Röntgen, anatomie, Handgelenk Bhf. 181
° Aktinomykose 101
—— Erysipelas 143

----- Morbus Basedowii 138
 Röntgenuntersuchung, Verköcherung d.
 Brustbeins.....Bhf. 435

S

*Saphena magna, Varietät.....568
 *Sarkom, Impedin45, 175, 184
 Schneidnde Elektrizität310
 Schneoplastik, Kasuistik 143
 Small intestine a. its mesentery.....313
 *Sonnenstrahlen, auf exp. Meerschweinchen-
 tuberculose540, 621
 Spätperforation, am zuführenden Dar-
 mende601
 *Spirochaeta pallida, ImpedinBhf. 534
 Sympathektomie,
 ° ----- Fixationskontraktur663
 ° ----- pulsus differens682
 ° ----- retroperitoneale496,607,672
 *----- Unterschenkelgeschwür..Bhf. 1
 Sympathische Fasern, Ausschaltung607
 Syringomyelie, Chirurg. Behandlung.....606

T

*Tendon, Anastomosis a. Transplantation ... 27

*Thorakolaparotomie, freie Bhf. 9
 Thorakotomie, freie

*----- d. beiden Brusthöhlen193
 *----- Diaphragmahernie
 Bhf. 456

Tuberculose,

*----- Fibrinogengehalt.....Bhf. 84
 *----- Knochen-Gelenk (Chinesen)
 Bhf. 10

U

*Unterschenkelgeschwür
 ----- Sympathektomie ..Bhf. 1
 Uleusleiden, Balint'sche Phänomen bei.....136
 Ulcus ventriculi et duodenie, chirurg. Be-
 handlung.....729
 *Ultraviolettstrahlen, auf exp. Meer-
 schweinchen T.B.621
 *Ureter, der Japaner (Topographie)558

V

Vitamin, bei exp. Knochenfraktur601

W

Wundheilung, Spannungskraft109